



昨年の総合防災訓練の様子（会場 = 旭小学校）



もしもの

災害に備えよう！



突然、大きな地震に襲われたら、あなたはとっさに対処できますか。そのとき、家族が離ればなれだったらどうしますか。地震などの災害による被害を最小限に食い止めるには、ふだんからの備えと心構えが大切です。9月1日は「防災の日」、この機会に家族みんなで防災について考えてみませんか。

防災訓練に参加しよう



消火器の使い方や避難の仕方などは、経験してみなければなかなか理解するのは難しいものです。

命を守る行動を確実にできるようにするために、地域で行われる防災訓練や救命講習などには積極的に参加しましょう。

体験して覚えておけば、いざというときに自信をもって行動できます。

本庄市総合防災訓練を実施します



市では、地震災害を想定した総合防災訓練を実施します。避難訓練や初期消火訓練、防災ヘリコプターを活用した救助訓練などを行います。

みなさんも、ぜひ一度見学にお越しください。

日時 9月10日 午前9時～正午

会場 仁手小学校グラウンド

防災訓練のため、当日はサイレン吹鳴等も実施されます。火災とお間違いのないよう、ご注意ください。

- ・午前9時 サイレン吹鳴（1回）...旧本庄市域
- ・午前9時15分ごろ 防災行政無線（避難放送1回）..仁手小通学区
まちづくり課 1184

家族で防災会議を開こう

会社や学校など外出先で地震にあつたら、どうやって家族と連絡をとりますか。

いつ、どこで地震にあつても、あわてずに行動できるように、家族みんなで「防災会議」を開き、次のようなことを確認しておきましょう。

家の中ではどんなところが安全か
非常持ち出し品に何を用意し、どこに置くか
避難するとき、だれが何を持ち出すか

避難するとき、子どもやお年寄りの面倒をだれが見るか
火元をだれが点検するか
消火器や救急医薬品、非常食などをだれが点検しておくか

避難経路や避難場所、緊急時の連絡方法をどうするか



防災用品や非常持ち出し品を準備しよう

避難するときにとつさに必要なものを持ち出せるように、リュックなどにまとめておくことが大切です。目につきやすい場所に置きましょう。

リュックの中身は定期的に点検し、使用期限などが切れたものは入れ替えるようにしましょう。準備するものは、すべて家族の人数×3日分が目安です。

また、氏名や血液型、連絡

非常持ち出し品チェックリスト

飲料水	一人1日3 が目安。
食料品	缶詰、ビスケット、乾パンなど。
医薬品	消毒薬、傷薬、胃腸薬、脱脂綿、ばんそうこう、包帯など。
貴重品	現金(5万円程度)のほか、通帳、印鑑など。
ヘルメット	落下物から頭を保護するものをすくに取り出せる所に。
手袋	軍手など厚手のもの。がれきの撤去や救助用に。
マッチ・ライター	湿気やガス切れに注意。
ろうそく	ぬれないようにビニール袋に入れて保管。
懐中電灯	夜間、すぐ手が届くところにも置いておく。
携帯ラジオ	緊急時の情報収集に。
予備電池	ラジオや懐中電灯に使用するものを多めに。
衣類	セーター、ジャンパー、下着など。雨具やタオルも用意。
毛布	寝袋や体温を逃がさないサバイバルシートなども重宝。
ナイフ・缶切り	十徳ナイフなどの多機能ナイフが便利。

これらは一般的な非常持ち出し品の目安です。中身や量は家族で話し合つて工夫しましょう。家族に病人、妊婦、赤ちゃんがいる場合は、担当医などに相談し、必要なものを用意しましょう。

先(住所・電話番号・避難場所・緊急時の連絡方法と連絡先)などを書いた避難カードを各自用意し、日ごろから携帯するようにしましょう。



本庄市・深谷市・伊勢崎市の三市で

災害時相互応援協定を締結



伊勢崎市長・矢内伊勢 本庄市長・吉田本庄 深谷市長・新井深谷 握手を交わす市長(左から) 締結市長・新井深谷

災害は、いつ、どんな形で襲ってくるのか予測できません。

災害から市民のみなさんの生命や身体、財産を守るためには、地域と行政が一体となつて救助活動や支援活動を行うことが大切です。

また、市独自で災害に対応できない事態となつた場合には、市域を越えての協力体制が必要となります。

本庄市では、隣接自治体との地域防災体制の強化を図るため、深谷市および伊勢崎市と、6月28日に伊勢崎市役所において「災害時相互応援協定」を締結し、災害時における支援や協力を互いに行うことを約束しました。

【主な協定内容】

食糧、飲料水、生活必需品の供給およびその供給に必要な資機材の提供
被災者の救出、医療、防疫および施設の応急復旧に必要な資機材の提供
救援および救助活動に必要な車両等の提供
救助および応急復旧に必要な技術職、技能職員等の派遣
ボランティアのあっせん
被災者を一時収容するための施設の提供および被災者に対する住宅の提供